

2019 年度
コンベンション経済波及効果
推計結果報告書

2020 年 5 月

公益財団法人とっとりコンベンションビューロー



目次

1. コンベンション経済波及効果の推計結果	1
2. コンベンション開催状況	2
3. 「大会・会議」の経済波及効果	4
4. 「スポーツ大会」の経済波及効果	7
5. 「企業コンベンション」の経済波及効果	9
6. 「海外インセンティブ」の経済波及効果	11
7. 「合宿」の経済波及効果	13
8. 昨年度との比較	15

1. コンベンション経済波及効果の推計結果

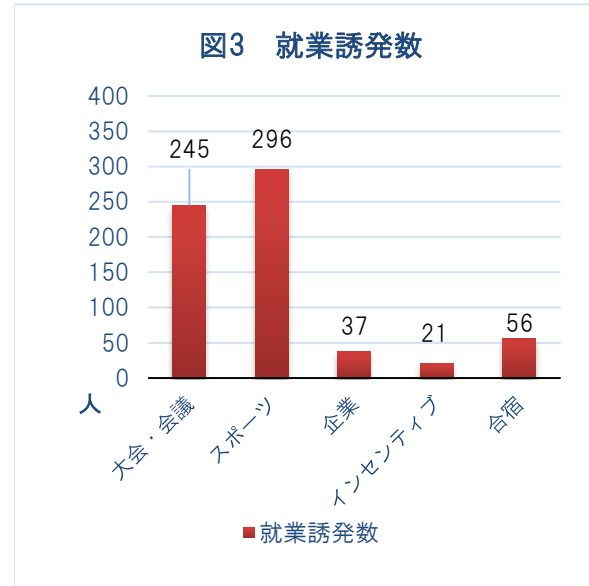
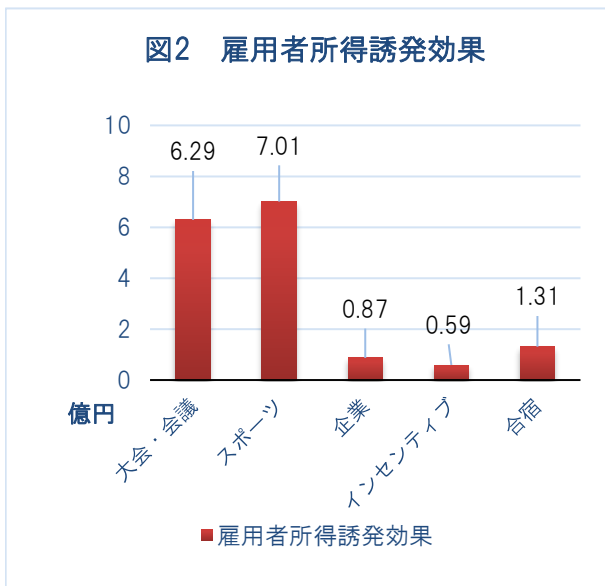
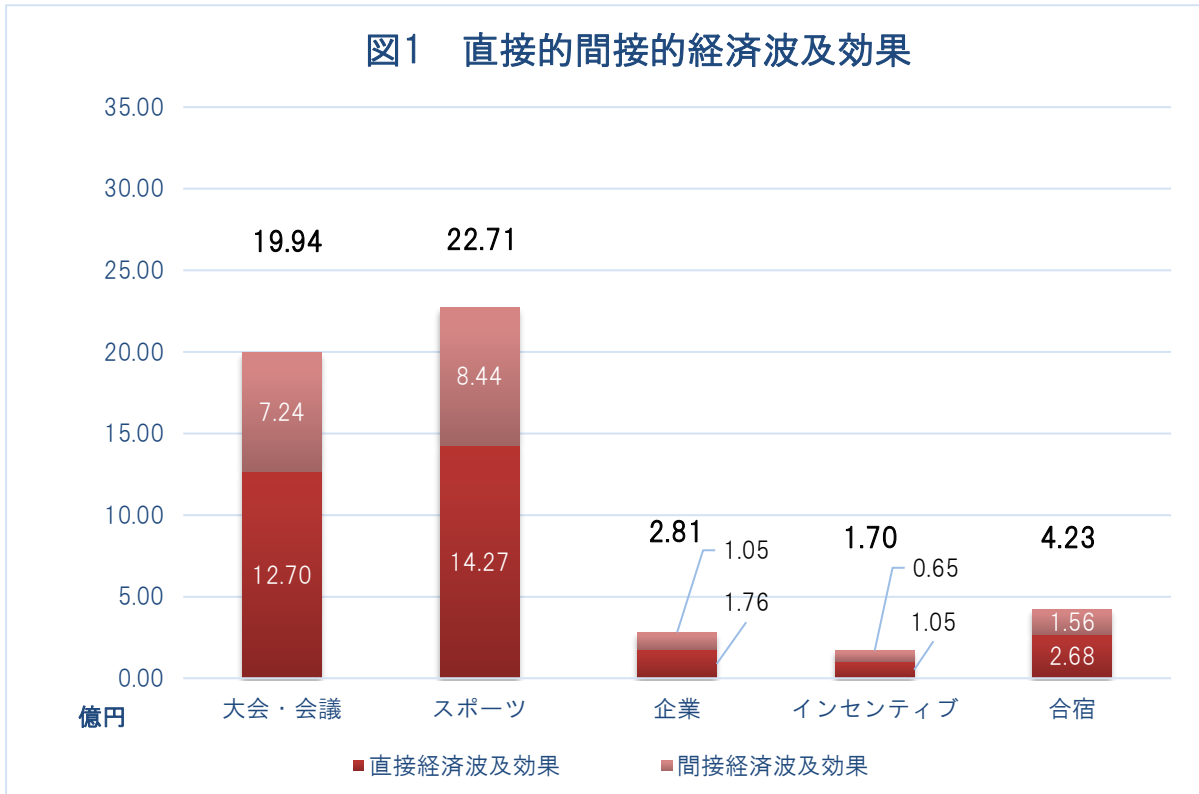
直接的経済波及効果 32.47 億円
(対前年度比 81.6%)

雇用者所得誘発効果 16.1 億円
(対前年度比 80.0%)

間接的経済波及効果 18.93 億円
(対前年度比 79.6%)

就業誘発数 656 人
(対前年度比 82.0%)

総額 51.40 億円
(対前年度比 80.8%)



※端数を四捨五入した値を表記しているため、合計値が合わないことがあります。(以下も同様)

2. コンベンション開催状況

表1.2019年度鳥取県内開催コンベンション

	大会・会議	スポーツ	企業	インセンティブ	合宿	合計
全開催件数(件)	116	61	7	33	108	325
アンケート実施件数(件)	29	5	0	0	0	34
助成金交付件数(件)	23	8	2	0	100	133
全参加者数(人)	22,799	33,816	4,740	1,314	10,921	73,590

※助成金交付コンベンションの収支決算書から主催者関連支出を算出した。

表2.消費支出アンケート実施コンベンション

コンベンション名	開催期日	開催地	参集範囲	配布数	回答数	回答率
第58回日本左官業組合連合会中国ブロック定期総会鳥取大会	5/16	三朝町	中国	140	3	2.1%
第70回中国都市監査委員会	5/24	倉吉市	中国	130	22	16.9%
第29回中国四国ペインクリニック学会	5/25	米子市	中四国	78	17	21.8%
私鉄総連第4回中央委員会	6/4	鳥取市	全国	237	1	0.4%
第15回ビルクリーニング技能競技中国大会	6/6	境港市	中国	230	1	0.4%
日本ビタミン学会第71回大会	6/7～8	鳥取市	全国	302	3	1.0%
第132回日本医学放射線学会中国・四国地方会 第54回日本核医学会中国・四国地方会	6/14～15	米子市	中四国	210	28	13.3%
第111回日本消化器病学会中国支部例会	6/15～16	米子市	中国	460	4	0.9%
第106回日本神経学会中国・四国地方会 第28回日本神経学会中国・四国地区生涯教育講演会	6/29	米子市	中四国	262	27	10.3%
第16回観光情報学会全国大会	6/29～30	米子市	全国	160	10	6.3%
令和元年度中国・四国地区高等学校PTA連合会大会	7/12	鳥取市	中四国	1,500	86	5.7%
第39回全日本トライアスロン皆生大会	7/14	米子市	全国	1,200	221	18.4%
令和元年度(第22回)全国近代化遺産活用連絡協議会鳥取大会	7/24～26	鳥取市	全国	250	2	0.8%
第54回全国特別支援学校知的障害教育教頭会研究大会	7/25～26	米子市	全国	200	24	12.0%
第34回日本大脳基底核研究会	8/24～25	米子市	全国	82	15	18.3%
日本禁煙学会主催研修会	8/25	米子市	全国	100	2	2.0%
第64回日本輸血・細胞治療学会中国四国地方会	9/7	米子市	中四国	161	27	16.8%
第38回全国社会福祉法人経営者大会	9/12～13	鳥取市	全国	974	39	4.0%
日本芝草学会2019年秋季大会	9/14～16	鳥取市	全国	164	22	13.4%
第72回中国四国産科婦人科学会学術講演会	9/21～22	米子市	中四国	266	13	4.9%
日本作物学会第248回講演会	9/25～26	鳥取市	全国	291	44	15.1%
全国国立大学放射線技師会オースタムセミナー	10/3～4	米子市	全国	120	17	14.2%
第117回西日本経済同友会会員合同懇談会	10/11～12	米子市	西日本	478	17	3.6%
第5回中・四国古希軟式野球大会	10/18～20	倉吉市	中四国	260	23	8.8%

第3回鳥取すごい！ライド	10/19～20	鳥取市	全国	600	27	4.5%
第18回全国社会人9人制バレーボール西ブロック男女優勝大会	10/19～21	鳥取市	西日本	1,063	19	1.8%
第53回全日本中学校道徳教育研究大会鳥取大会	10/24～25	鳥取市	全国	950	35	3.7%
令和元年度（第70回）電気・情報関連学会中国支部連合大会	10/26	鳥取市	中国	330	8	2.4%
第34回記念中国ママさんバレーボール大会	11/2～3	境港市	中国	250	16	6.4%
日本教育実践学会第22回研究大会	11/2～3	倉吉市	全国	120	7	5.8%
令和元年度市町村教育委員会研究協議会（西日本ブロック）	11/5～6	鳥取市	西日本	500	7	1.4%
日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会	11/14～15	米子市	西日本	240	5	2.1%
植物化学調節学会第54回大会	11/15～17	鳥取市	全国	207	39	18.8%
日本小児麻酔学会第25回大会	11/16～17	米子市	全国	671	170	25.3%
合計 34 件				13,186	1,001	7.6%

※消費支出アンケートの県内支出額に関する設問から参加者関連支出額を算出した。

3. 「大会・会議」の経済波及効果

I 主催者関連支出合計額の推計

主催者関連支出とは、コンベンション開催に伴って主催者が支出する経費で、会場・設備工事費・機材レンタル費・印刷製本費・通信運搬費・臨時雇用費などがある。

【算出方法】

助成金交付対象となった23件の「大会・会議」の主催者関連支出額を大会日数(会期)ごとに分け、大会日数別に1件当たりの平均額を算出した。

その平均額を開催された全ての「大会・会議」116件に乘じ、合算したもので、主催者関連支出合計額を推計した。(表3)

表3.主催者関連支出額(大会・会議)

	開催件数	1件当たりの主催者支出	主催者関連支出額
会期1日	44	3,145,111	138,384,884
会期2日	60	8,378,422	502,705,320
会期3日	10	4,060,729	40,607,290
会期4日	2	8,094,000	16,188,000
合計	116	—	697,885,494

(単位：円)

よって主催者関連支出合計額は、**697,885,494円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

参加者関連支出とはコンベンション参加者が支出する経費で、宿泊費・交通費・飲食費・土産購入費・観光娯楽費などがある。

【算出方法】

消費支出アンケートを実施した29件の大会・会議の参加者を、県内参加者、県外参加者のうち県内宿泊者、その他(日帰りや県外宿泊など)の3つの項目に分け、それらの費用項目別の平均消費額を推計した。(表4)

表4.1人当たりの参加者支出(大会・会議)

	県内参加者	県外参加者	
		県内宿泊	その他 (日帰り・県外宿泊)
宿泊費	2,190	14,199	0
飲食費	810	9,929	2,129
土産代	0	5,813	2,400
交通費	429	3,158	1,412
観光・娯楽費	0	1,317	188
その他	48	886	82
合計	3,477	35,302	6,212

(単位：円)

助成金交付対象となった23件のコンベンションのデータから、県外参加者の県内宿泊比率を割り出し、その比率に基づき全ての県外参加者について県内宿泊者とその他(日帰りや県外宿泊など)の人数を推計した。(表5)

表5.県外参加者内訳推計(大会・会議)

	県内参加者 (実数)	県外参加者		合計 (実数)
		県内宿泊	その他	
助成金交付対象	1,065	5,169	331	6,565
全参加者	6,399	15,413	987	22,799

(単位：人)

表5の参加者内訳数に参加者支出平均額を乗じて、参加者支出合計額を算出した。(表6)

表6.全参加者の参加者支出額合計(大会・会議)

	県内参加者 6,399人	県外参加者		合計 22,799人
		県内宿泊 15,413人	その他 987人	
宿泊費	14,013,810	218,849,445	0	232,863,255
飲食費	5,183,190	153,035,858	2,101,691	160,320,738
土産代	0	89,595,875	2,368,756	91,964,631
交通費	2,745,171	48,674,311	1,393,386	52,812,869
観光・ 娯楽費	0	20,298,945	185,785	20,484,730
その他	307,152	13,655,934	81,281	14,044,367
合計	22,249,323	544,110,368	6,130,899	572,490,590

(単位：円)

よって、参加者関連支出合計額は**572,490,590円**と推計した。

Ⅲ 直接的経済効果の推計

I・IIから

主催者関連支出合計額 **697,885,494円**
 参加者関連支出合計額 **572,490,590円**
 合計 **1,270,376,084円 (A)**

が「大会・会議」の直接的経済効果と推計した。

Ⅳ 生産誘発効果の推計

生産誘発効果とは、最終需要額(直接的経済効果)の投入により新たに誘発された効果であり、一次波及効果と二次波及効果に分けられる。

一次波及効果は直接的経済効果を産業連関分析にかけることによって推計される。推計された数値は、新たに誘発された経済効果の大きさを表している。

二次波及効果は一次波及効果推計によって求められた雇業者所得誘発額に、可処分所得に占める消費支出額の割合(平均消費性向)を乗じ、その数を産業連関分析にかけることによって求められる。

【算出方法】

前項で算出された最終需要額(直接的経済効果)を産業連関表に落とし込み、全体の生産誘発効果を推計した。(表7)

表7.全体の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	12億 7,038万円	7億 384万円	5億 3,921万円	25億 1,342万円
雇業者 所得額	4億 2,950万円	1億 8,843万円	1億 3,917万円	7億 5,710万円
就業 誘発数	182人	59人	46人	288人

表7は鳥取県外への効果も含まれているので、県内自給率を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。(表8)

表8.鳥取県内への生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	12億 7,038万円	3億 9,578万円	3億 2,818万円	19億 9,434万円
雇業者 所得額	4億 2,950万円	1億 1,267万円	8,666万円	6億 2,883万円
就業 誘発数	182人	35人	28人	245人

V 間接的経済波及効果の推計

IVから

一次波及効果	395,776,482 円
二次波及効果	328,184,497 円
合計	723,960,979 円 (B)

が「大会・会議」の間接的経済波及効果と推計した。

VI 雇用者所得誘発額・就業誘発数

雇用者所得誘発額は直接的経済効果により新たに得られる雇用者の所得で、就業者誘発数は効果により創出される就業者の増加数である。

表8で鳥取県内の雇用者所得誘発額と就業者誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発額	628,828,018 円
就業誘発数	245 人

VII 経済波及効果のまとめ（大会・会議）

2019年度「大会・会議」による経済波及効果は

直接的経済効果（A）	1,270,376,084 円
間接的経済波及効果（B）	723,960,979 円
合計	1,994,337,063 円
雇用者所得誘発額	628,828,018 円
就業誘発数	245 人

と推計した。

4. 「スポーツ大会」の経済波及効果

「スポーツ大会」の推計方法は、前章の「大会・会議」と同様に、助成金交付対象の大会の収支決算書から主催者支出を、消費支出アンケートから参加者支出を算出する。

I 主催者関連支出合計額の推計

【算出方法】

助成金交付対象となった8件の「スポーツ大会」の主催者関連支出額を大会日数別に仕分けし、1件当たりの平均額を算出した。

その平均額を開催された全ての「スポーツ大会」61件に乘じ、合算したもので、主催者関連支出合計額を推計した。

※会期1日、10日の大会については助成金交付対象でないため会期1日の平均値は会期2日の値を、会期10日の平均値は会期5日の値を代用した。

表9.主催者関連支出額（スポーツ大会）

	開催 件数	1件当たりの 平均額	主催者関連 支出額
会期1日	12	1,415,116	16,981,392
会期2日	26	1,415,116	36,793,016
会期3日	17	1,781,950	30,293,150
会期4日	2	4,972,000	9,944,000
会期5日	3	5,739,115	17,217,345
会期10日	1	5,739,115	5,739,115
合計	61	—	116,968,018

(単位：円)

よって、主催者関連支出合計額は**116,968,018円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

【算出方法】

消費支出アンケートを実施した5件のスポーツ大会の参加者を、県内参加者、県外参加者のうち県内宿泊者、その他(日帰りや県外宿泊者)の3つに分け、それらの費用項目別の平均消費額の推計を行った。(表10)

表10.1人当たりの参加者支出（スポーツ大会）

	県内参加者	県外参加者	
		県内宿泊	その他 (日帰り・県外宿泊)
宿泊費	7,688	24,724	0
飲食費	7,500	11,284	2,682
土産代	2,313	8,157	4,773
交通費	1,188	3,799	2,091
観光・ 娯楽費	188	2,019	273
その他	1,000	2,608	682
合計	19,877	52,591	10,501

(単位：円)

次に、助成金交付対象となった8件のコンベンションのデータから、県外参加者の県内宿泊比率を割り出した。

その比率に基づき全ての県外参加者について県内宿泊者とその他(日帰りや県外宿泊など)の人数を推計した。(表11)

表11.県外参加者内訳推計（スポーツ大会）

	県内 参加者 (実数)	県外参加者		合計 (実数)
		県内宿泊	その他	
助成金 交付対象	1,152	4,071	269	5,492
全参加者	12,615	19,887	1,314	33,816

(単位：人)

表11の参加者内訳数に参加者支出平均額を乘じて、参加者支出合計額を算出した。(表12)

表12.全参加者の参加者支出合計（スポーツ大会）

	県内参加者 12,615人	県外参加者		合計 33,816人
		県内宿泊 19,887人	その他 1,314人	
宿泊費	96,984,120	491,674,766	0	588,658,886
飲食費	94,612,500	224,399,695	3,525,387	322,537,582
土産代	29,178,495	162,214,490	6,273,927	197,666,913
交通費	14,986,620	75,548,958	2,748,540	93,284,118
観光・ 娯楽費	2,371,620	40,150,920	358,848	42,881,388
その他	12,615,000	51,864,091	896,463	65,375,554
合計	250,748,355	1,045,852,920	13,803,165	1,310,404,440

(単位：円)

よって、参加者関連支出合計額は**1,310,404,440円**と推計した。

III 直接的経済効果の推計

I・IIから

主催者関連支出合計額	116,968,018円
参加者関連支出合計額	1,310,404,440円
合計	1,427,372,458円 (C)

が「スポーツ大会」の直接的経済効果と推計した。

Ⅳ 生産誘発効果の推計

【算出方法】

前項で算出された最終需要額（直接的経済効果）を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。（表 13）

表 13.全体の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	14 億 2,737 万円	7 億 9,424 万円	5 億 9,245 万円	28 億 1,407 万円
雇用者所得額	4 億 7,297 万円	2 億 599 万円	1 億 5,291 万円	8 億 3,186 万円
就業誘発数	223 人	68 人	50 人	342 人

（単位：円）

表 13 は鳥取県外への効果も含まれているので、県内自給率を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。

表 14.鳥取県内の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計
生産増加額	14 億 2,737 万円	4 億 7,807 万円	3 億 6,571 万円	22 億 7,115 万円
雇用者所得額	4 億 7,297 万円	1 億 3,120 万円	9,657 万円	7 億 74 万円
就業誘発数	223 人	42 人	31 人	296 人

Ⅴ 間接的経済波及効果の推計

Ⅳから

一次波及効果	478,069,361 円
二次波及効果	365,712,914 円
合計	843,782,275 円 (D)

が「スポーツ大会」の間接的経済波及効果と推計した。

Ⅵ 雇用者所得誘発額・就業誘発数

表 14 で鳥取県内の雇用者所得誘発額と就業誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発額	700,735,497 円
就業誘発数	296 人

Ⅶ 経済波及効果のまとめ（スポーツ大会）

2019 年度「スポーツ大会」による経済波及効果は

直接的経済効果（C）	1,427,372,458 円
間接的経済波及効果（D）	843,782,275 円
合計	2,271,154,734 円
雇用者所得誘発額	700,735,497 円
就業誘発数	296 人

と推計した。

5. 「企業コンベンション」の経済波及効果

「企業コンベンション」とは、鳥取県外に本拠地を置く企業が主催する研修や視察、インセンティブツアー等である。

推計方法としては、主催者支出は助成金交付対象のコンベンションの収支決算書から算出し、参加者支出は、「企業コンベンション」では消費支出アンケートを実施しなかったため、「大会・会議」の消費支出アンケートの値を代用して算出した。

I 主催者関連支出合計額の推計

【算出方法】

助成金交付対象となった2件1,625人のコンベンションの主催者関連支出を元に1人あたり主催者関連支出額を算出した。

それを2019年度に開催された「企業コンベンション」の全体参加者4,740人に乗じて、主催者関連支出合計額を算出した。(表15)

助成金対象 参加者数 (人)	1人あたり 主催者支出額 (円)	全参加者数 (人)	主催者関連 支出合計額 (円)
1,625	31,425	4,740	148,954,500

(単位：円)

よって、主催者関連支出合計額は、**148,954,500円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

「企業コンベンション」の参加者は「大会・会議」や「スポーツ大会」の参加者とは異なり、交通費・宿泊費・飲食費などは主催者が負担している。

つまり、基本的に参加者が現地で支払う支出は「土産代」のみと考えられる。

【算出方法】

土産代のデータは、「大会・会議」の消費支出アンケートの値を用いて、県外参加者で積算し合計額を算出した。

※県内参加者の土産代はゼロとして計算する。

(表16)

表16. 県外参加者の現地支出

	県内参加者 5人	県外参加者 (県内宿泊) 4,735人	合計 4,740人
1人あたりの 土産代	0	5,813	—
現地支出 合計額	0	27,524,555	27,524,555

(単位：円)

よって、参加者関連支出合計額(現地支出額)は**27,524,555円**と推計した。

III 直接的経済効果の推計

I・IIから

主催者関連支出合計額	148,954,500円
参加者関連支出合計額	27,524,555円
合計	176,479,055円 (E)

が「企業コンベンション」の直接的経済効果と推計した。

IV 生産誘発効果の推計

【算出方法】

前項で算出された最終需要額(直接的経済効果)を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。(表17)

表17. 全体の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	1億 7,648万円	9,686万円	7,347万円	3億 4,681万円
雇用者 所得額	5,915万円	2,505万円	1,896万円	1億 316万円
就業 誘発数	28人	8人	6人	43人

(単位：円)

表17は鳥取県外への効果も含まれているので、さらに県内自給率を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。(表18)

表18. 鳥取県内の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	1億 7,648万円	5,918万円	4,557万円	2億 8,123万円
雇用者 所得額	5,915万円	1,614万円	1,203万円	8,732万円
就業 誘発数	28人	5人	4人	37人

V 間接的経済波及効果の推計

IVから

一次波及効果	59,178,375円
二次波及効果	45,571,556円
合計	104,749,931円 (F)

が「企業コンベンション」の間接的経済波及効果と推計した。

VI 雇用者所得誘発額・就業誘発数

表 18 で鳥取県内の雇用者所得誘発額と就業誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発額	87,318,783 円
就業誘発数	37 人

VII 経済波及効果のまとめ（企業コンベンション）

2019 年度「企業コンベンション」による経済波及効果は

直接的経済効果（E）	176,479,055 円
間接的経済波及効果（F）	104,749,931 円
合計	281,228,986 円
雇用者所得誘発効果	87,318,783 円
就業誘発数	37 人

と推計した。

6. 「海外インセンティブ」の経済波及効果

I 主催者関連支出合計額の推計

【算出方法】

2019年度は助成金交付対象のコンベンションがなかったため、2013年度の助成金交付対象となった3件411人のコンベンションの主催者関連支出を元に、1人あたりの主催者関連支出を推計した。

それを2019年度に開催された「海外インセンティブ」全体の参加者1,314人に乗じて主催者関連支出合計を推計した。(表19)

表19.主催者関連支出額

助成金対象 参加者数 (人)	1人あたり 主催者支出額 (円)	全参加者数 (人)	主催者関連 支出合計額 (円)
※ 411	※ 26,926	1,314	35,380,764

※2013年度実績

よって、主催者関連支出合計額は**35,380,764円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

「海外インセンティブ」の参加者は全て外国人で、その他のコンベンションの参加者とは消費動向が大きく異なる。

「海外インセンティブ」では消費支出アンケートを実施していないため、観光庁の《訪日外国人消費動向調査》の内、「買物代」のみを基礎データとして代用した。(表20)

(※観光庁の《2019年 訪日外国人消費動向調査》における「買物代」全体平均購入率・単価数を使用した。)

表20.参加者関連支出合計額(現地支出合計額)

	購入率	購入者 単価	購入者数 (参加者数 ×購入率)	合計
買物代	96.5%	55,277	1,268	70,091,789

よって、「海外インセンティブ」の参加者関連支出合計額(現地支出額)は**70,091,789円**と推計した。

III 直接的経済効果の推計

I・IIから

主催者関連支出合計額	35,380,764円
参加者関連支出合計額	70,091,789円
合計	105,472,553円 (G)

が「海外インセンティブ」の直接的経済効果と推計した。

IV 生産誘発効果の推計

【算出方法】

前項で算出された最終需要額(直接的経済効果)を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。(表21)

表21.全体の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	1億 547万円	5,210万円	4,873万円	2億 630万円
雇用者 所得額	4,157万円	1,427万円	1,258万円	6,842万円
就業 誘発数	16人	4人	4人	24人

表21は鳥取県外への効果も含まれているので、県内自給率を用いて鳥取県内への生産誘発効果を推計した。(表22)

表22.鳥取県内の生産誘発効果(一次・二次波及効果)

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	1億 547万円	3,379万円	3,090万円	1億 7,016万円
雇用者 所得額	4,157万円	948万円	816万円	5,921万円
就業 誘発数	16人	3人	3人	21人

V 間接的経済波及効果の推計

IVから

一次波及効果	33,788,964 円
二次波及効果	30,902,573 円
合計	64,691,537 円 (H)

が「海外インセンティブ」の間接的経済波及効果と推計した。

VI 雇用者所得誘発額・就業誘発数

表 22 で鳥取県内の雇用者所得誘発額と就業誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発額	59,211,828 円
就業誘発数	21 人

VII 経済波及効果のまとめ（海外インセンティブ）

2019 年度「海外インセンティブ」による経済波及効果は

直接的経済効果 (G)	105,472,553 円
間接的経済波及効果 (H)	64,691,537 円
合計	170,164,090 円
雇用者所得誘発効果	59,211,828 円
就業誘発数	21 人

と推計した。

7. 「合宿」の経済波及効果

I 主催者関連支出合計額の推計

【算出方法】

助成金交付対象となった100件の主催者関連支出額を合宿日数別に分け、それを元に参加者1人あたりの主催者関連支出額を推計した。

それを合宿日数ごとに全ての参加者で乗じたものを合算し、主催者関連支出合計額を算出した。(表24)

表 23.主催者支出合計額 (合宿)

合宿日数	参加者数 (人)	1人あたりの 主催者関連支出額	主催者関連 支出額合計
2	791	3,076	2,433,116
3	3,016	15,729	47,438,664
4	3,598	22,662	81,537,876
5	587	32,312	18,967,144
6	386	32,488	12,540,368
7	133	45,984	6,115,872
8	124	51,176	6,345,824
9	403	39,030	15,729,090
10	628	15,291	9,602,748
14	790	34,881	27,555,990
15	55	60,000	3,300,000
27	410	10,217	4,188,970
合計	10,921	—	235,755,662

(単位：円)

よって、合宿の主催者関連支出合計額は**235,755,662円**と推計した。

II 参加者関連支出合計額の推計

【算出方法】

2013年度に行った合宿主催者へのアンケート調査で算出した、1人あたりの県内消費金額(事前に支払う宿泊費や交通費などは除く)を活用する。(表24)

表 24.合宿参加者の県内消費額

回答数	1人あたりの県内消費額 (交通費・宿泊費・会場費等の事前に 支払う金額は除く)
69 団体	2,910 円

この1人あたりの県内消費額を全参加者数で乗じ、「合宿」の参加者関連支出合計額を算出した。(表25)

表 25.合宿の参加者関連支出合計額

県内消費平均額	全参加者数	参加者関連支出 合計額
2,910 円	10,921 人	31,780,110 円

よって、「合宿」の参加者関連支出合計額(現地支出額)は、**31,780,110円**と推計した。

III 直接的経済効果の推計

I・IIから

主催者関連支出合計額	235,755,662 円
参加者関連支出合計額	31,780,110 円
合計	267,535,772 円 (I)

が「合宿」の直接的経済効果と推計した。

Ⅳ 生産誘発効果の推計

【算出方法】

前項で算出された最終需要額（直接的経済効果）を産業連関表に落とし込み、生産誘発効果を推計した。（表 26）

表 26.全体の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	2 億 6,754 万円	1 億 4,593 万円	1 億 1,040 万円	5 億 2,387 万円
雇用者 所得額	8,885 万円	3,767 万円	2,849 万円	1 億 5,502 万円
就業 誘発数	43 人	13 人	9 人	65 人

表 26 は鳥取県外への効果も含まれているので、県内自給率を使って鳥取県内への生産誘発効果を算出した。（表 27）

表 27.鳥取県内の生産誘発効果（一次・二次波及効果）

	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	合計
生産 増加額	2 億 6,754 万円	8,765 万円	6,823 万円	4 億 2,341 万円
雇用者 所得額	8,885 万円	2,386 万円	1,802 万円	1 億 3,073 万円
就業 誘発数	43 人	8 人	6 人	56 人

Ⅴ 間接的経済波及効果の推計

Ⅳから

一次波及効果	87,650,133 円
二次波及効果	68,225,725 円
合計	155,875,858 円 (J)

が「合宿」の間接的経済波及効果と推計した。

Ⅵ 雇用者所得誘発額・就業誘発数

表 27 で鳥取県内の雇用者所得誘発額と業誘発数も算出している。結果は以下の通りである。

雇用者所得誘発額	130,726,002 円
就業誘発数	56 人

Ⅶ 経済波及効果のまとめ（合宿）

2019 年度「合宿」による経済波及効果は

直接的経済効果（I）	267,535,772 円
間接的経済波及効果（J）	155,875,858 円
合計	423,411,630 円
雇用者所得誘発効果	130,726,002 円
就業誘発数	56 人

と推計した。

8. 昨年度との比較

本稿では 2018 年度と 2019 年度の結果を比較する。

I 全項目の比較

表 28.全体の経済波及効果

	2018 年度	2019 年度	差	対前年度比	
件数	382	325	-57	85.1%	
参加者数 (人)	85,750	73,590	-12,160	85.8%	
直接効果 (円)	主催者支出	1,615,953,990	1,234,944,438	-381,009,552	76.4%
	一件あたり	4,230,246	3,799,829	-430,417	89.8%
	参加者支出	2,365,426,693	2,012,291,484	-353,135,209	85.1%
	一人あたり	27,585	27,345	-240	99.1%
	合計	3,981,380,683	3,247,235,922	-734,144,761	81.6%
間接効果 (円)	一次	1,271,813,763	1,054,463,316	-217,350,447	82.9%
	二次	1,107,092,909	838,597,265	-268,495,644	75.7%
	合計	2,378,906,672	1,893,060,581	-485,846,091	79.6%
経済波及効果合計 (円)	6,360,287,355	5,140,296,503	-1,219,990,852	80.8%	
参加者一人あたりの経済波及効果 (円)	74,172	69,850	-4,322	94.2%	
コンベンション一件あたりの経済波及効果 (円)	16,649,967	15,816,297	-833,670	95.0%	
雇用者所得 (円)	2,007,286,758	1,606,820,129	-400,466,629	80.0%	
就業誘発数 (人)	800	656	-144	82.0%	

表 29.大会種別の経済波及効果

	2018 年度	2019 年度	差	対前年度比
大会・会議	33.58	19.94	-13.64	59.4%
スポーツ大会	19.06	22.71	3.65	119.2%
企業コンベンション	1.22	2.81	1.59	230.3%
海外インセンティブ	5.90	1.70	-4.2	28.8%
合宿	3.84	4.23	0.39	110.2%
合計	63.60	51.40	-12.2	80.8%

(単位：億円)

出典

観光庁

「訪日外国人消費動向調査」

令和元年（2019年） 暦年（1-12月期）

作成

公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

鳥取県米子市末広町 294 番地

T E L 0859-39-0777

F A X 0859-39-0700

<https://www.t-cb.jp>

welcome@t-cb.jp